

まちづくり市民会議 実施結果 速報版

1 開催概要

(1) 目的

- ・令和8年度を始期とする次期総合計画の策定に向け、市政等に関する課題を幅広く把握し、解決に向けた多様な意見を収集することを目的として、市民及び中学生によるワークショップ形式で実施した。

(2) 会議テーマ

- ・より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題

(3) 参加者の抽出方法

- ・市民：地域・性年代を考慮し無作為抽出した16歳以上の市内在住者1,200人に対し参加依頼状を送付、期日までに参加申込があった者。
- ・中学生：各中学校(鴨川・長狭・安房東)から推薦された者。

※鴨川市出身で市外在住の大学生も対象としたが、公募で募集したところ、参加申込はなかった。

(4) 実施方法

- ・創造的問題解決手法である創造技法を用いて、第1会議で「課題抽出」、第2回で「解決案出し」を行った。
- ・地域や年代を考慮し1チーム4～7名ずつに分かれ、各チームでチームリーダーを選んだ。ファシリテーター（1名）が全体に指示を出しながら、チームリーダーが主軸となってグループワークを行った。

2 開催結果

	第1回	第2回
日 時	8月16日(土) 13:30~16:00	8月30日(土) 13:30~16:00
場 所	鴨川市役所 4階大会議室	鴨川市役所 4階大会議室
参加者	41名(市民31名、中学生10名)	33名(市民30名、中学生3名)
チーム数	9(チーム6欠番)	8(チーム6,10欠番)
実施内容	・開会挨拶 1. まちづくり市民会議の概要 (1)市長挨拶・まちづくり市民会議の主旨説明 (2)基本講義：ワークショップの進め方の解説 (3)チームワーク：参加者の自己紹介・リーダーの決定 2. 第1会議 「より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題」の抽出 (1)テーマに関する発想(カードブレインライティング法*) *各自1枚ずつ配布されたシートに課題を3つずつ記入→シートを隣の人に回すことを繰り返し、課題の広角・大量発想を行う。 (2)評価と課題選択(持ち点評価法*) *各自持ち点を8点とし、各課題に対し1位=3点、2位=2点、3位=1点で投票する形式で評価。その点数を元にディスカッションし順位を決定。 (3)発表シートの作成 (4)発表シートの発表 ・閉会挨拶	・開会挨拶 1. 第2会議 「最重要課題の解決案の作成」 (1)第2会議の進め方・企画シートのまとめ方の説明 (2)最重要課題の解決案発想(カードブレインストーミング法*) *第1会議で抽出した「市の最重要課題」の解決案を、各自が3分間カード(付箋)に記入→チーム内発表を繰り返し、解決案の広角・大量発想を行う。 (3)最重要課題の解決案のまとめ(ブロック法*) *解決案が記入されたカードをメンバーに均等配分し、各自で類似カード分類後、チーム全体で類似カードを集約。 (4)解決案の評価(持ち点評価法*) *各自持ち点を8点とし、各取組案に対し1位=3点、2位=2点、3位=1点で投票する形式で評価。その点数を元にディスカッションし順位を決定。 (5)企画シートの作成 (6)企画シートの発表 (7)講評コメント・全体まとめ ・市長挨拶 ・閉会挨拶

※全3回を予定していたが、8/2(土)は台風のため中止

3 結果概要

- ・第1会議において、全9チームから発表された課題は42件であった。カテゴリ名ごとに分類した結果、「教育や子育て関連」が8件と最も多く、次に「施設の建設や整備」6件が続いた。
- ・第2会議において、チームの最重要課題となったカテゴリは、多い順に「教育や子育て関連（チーム1，2，4，9）」、「財政や行政関連（チーム7，8）」、「移住・定住・雇用の関連（チーム5）」、「観光と地域資源の活用（チーム3）」となった。（チーム10は第2会議未実施。）

カテゴリ名 【課題件数】	課題の内容 ※○数字は第1会議における各チームの最重要課題
教育や子育て関連 【8件】	①教育に力を入れる ②子どもへの給付を(増やす)(※第2回会議でタイトル変更→子育てに魅力のあるまちにする) ④教育環境の整備 ⑨教育関係 ・学生の遊ぶ場所(子育て世代に対しても) ・遊ぶ場所がほしい ・小・中学で協力するイベントを実施 ・子育て介護をしている人へのサポートがほしい
施設の建設や整備 【6件】	⑩スポーツ施設をつくる(※第2会議未実施) ・コンサートホールをつくる(市民会館) ・シーワールドなどのテーマパークを増やす ・市の魅力を上げるために既存の施設の改修や市民会館をたてる。空き施設や空き家の活用 ・病院施設の充実 ・今ある施設をきれいに保つよう環境整備
財政や行政関連 【5件】	⑦財政の見直し ⑧市の収入を増やす ・ふるさと納税を増やす工夫をする ・国の事業を鴨川へ ・予算の振り分けが適正か検討

カテゴリ名 【課題件数】	課題の内容 ※○数字は第1回会議における各チームの最重要課題
移住・定住・雇用の関連 【5件】	⑤移住・定住の促進(若い人が就職できる企業誘致等) ・移住定住問題の解決 ・若い人の職場を増やす ・シニアが働ける場所の調整ができる窓口を設置してほしい ・農業の活性化
観光と地域資源の活用 【5件】	③鴨川の自然を守りながら楽しめる環境づくり ・観光の強化 ・地域資源を活かした観光業の充実 ・観光資源をもっとほりさげる、観光資源の発掘をする ・特産物を決める
交通とインフラ関連 【5件】	・公共交通網(コミュニティバス)を拡充させ、渋滞を緩和させる ・道路や公共交通機関をもっと利用しやすく ・交通渋滞への対策 ・交通の便 ・高速道路が鴨川までほしい
地域活動やイベント関連 【4件】	・地域活動の活性化 ・イベントの充実 ・祭りの開催 ・町内コミュニティ
環境の美化 【3件】	・美化運動 ・道の草をひんぱんに刈ってほしい ・ゴミ問題
その他【1件】	・地域の治安維持

4 チームごとの結果【チーム1】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)	●最重要課題の解決案 (第2回)
1. 最重要課題「教育に力を入れる」 ・ 公立高校のスクールバス運行（困っている人がいる） ・ 大学通学補助（鴨川市から通学） ・ 学校統合（部活動） ・ 子供達の部活 成果試せる場所増やす 2. イベントの充実 ・ 花火大会 規模増 ・ 祭り活性化 3. 特産物決める ・ 鮮魚、農業 ブランド決める ・ 農地解放 4. 若い人の職場増やす ・ 5. 地域の治安維持 ・ 外灯の数増やす ・ 夜でもにぎわいあるまち	○最重要課題「教育に力を入れる」 ○主要な解決策 ・ スクールバスを高校生の通学に利用 ・ 小中学校の統合をして、環境を充実させる（エアコン・タブレット） ・ 学校が終わった後にもっと勉強をしたい人の勉強のできる場をつくる ・ 市の交流大会を増やす（近くの市町） ○選択理由 ・ 未来の鴨川をになう子供たちを育てる ○スケジュール・必要な条件 2026 年 4 月 スクールバスを高校生が乗れるようにする（バスを発行） 2025 年 10 月 勉強できる場所のピックアップ 2025 年 12 月 まずは受験生に解放（PC 端末タブレットなど） （必要条件 議会で話し合ってもらおう） ○備考 ☆親の負担軽減 ☆公立高校への通学者が増える ☆環境にやさしい

4 チームごとの結果【チーム2】

※第1会議では最重要課題が「子どもへの給付(を増やす)」だったが、第2会議ではタイトルを変え、「子育てに魅力のあるまちにする」となった。

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題「子どもへの給付(を増やす)」

- ・人口を増やしたい
- ・若い世代に来てほしい
- ・外に出てほしくない

2. 遊ぶ場所がほしい

- ・住んでも楽しくない

3. 小・中学で協力するイベントを実施

- ・関わりを増やす
- ・仲良くなる

4. 道の草をひんぱんに刈ってほしい

- ・通学路など

5. 高速道路が鴨川までほしい

- ・観光
- ・移住

●最重要課題の解決案

(第2回)

○最重要課題「子育てに魅力のあるまちにする」

○主要な解決策

1. 学童保育の充実

土曜も長期休業も、体験、スポーツ、交通(バス)

2. 学校解放

「たまり場」をつくる

3. 発信

SNSで祭り・行事とリアルタイムで→バズりを市で目指す

※GIGAスクールのタブレットを性能の良い物に、
ネット環境の改善

○選択理由

- ・保護者にとって育てやすいと思ってもらいたい

○スケジュール・必要な条件

1. 2025年9月 市民にSNSへの協力依頼
2. 2025年9月 ボランティア(有償)募集
3. 専属SNS担当を任命

○備考

- ・市が取りくめば実現可能(費用があまりかからない)

4 チームごとの結果【チーム3】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)	●最重要課題の解決案 (第2回)
1. 最重要課題「鴨川の自然を守りながら楽しめる環境づくり」 ・自然との共生 ・観光戦略 ・移住者の促進がみこまれる 2. 公共交通網（コミュニティバス）を拡充させ、渋滞を緩和させる ・コミュニティバスの増発 3. 地域資源を活かした観光業の充実 ・漁業・農業・観光業の発展 4. 移住定住問題の解決 5. ゴミ問題	○最重要課題「鴨川の自然を守りながら楽しめる環境づくり」 ○主要な解決策 ①林道やハイキングコース整備する 市民に協力（ボランティア）してもらう ②休耕田や海の資源を移住者に活用してもらう 移住希望者に農林漁業の経験をしてもらう機会をもうける ○選択理由 ・鴨川のキレイな山・海を守り観光資源にするため ○スケジュール・必要な条件 ①2026年12月広報で市民にお願いする→2026年2月実施 ②2025年10月各調査→2026年1月SNS・HPで募集→2026年3月実施 ○備考 ・予算・人員確保が出来れば、可能性あり

4 チームごとの結果【チーム4】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題「教育環境の整備」

- ・エアコンがない教室がある
- ・次代を担う子どもたちに、良い環境を！

2. 観光の強化

- ・お金を落としてもらわないと、未来がない…

3. 交通渋滞への対策

- ・渋滞が多いと、観光にも来づらい！？

4. 農業の活性化

- ・従事者がどんどん減っていて&高齢化

●最重要課題の解決案

(第2回)

○最重要課題「教育環境の整備と充実を図る」

○主要な解決策

1. 家庭の負担を軽減する

- ・給食費を無償にする
- ・学用品の購入費用を補助する

2. 学校の統合

- ・子どもが通学しやすいように、バスを充実させる

3. 環境整備

- ・全教室エアコン、フリーwi-fi

4. 教育内容の充実

- ・鴨川に愛着が持てる教育
- ・全体的な学力の底上げ

○選択理由

- ・子育てがしやすく、子どもが将来的に帰って来たいと思えるまちにする必要があるため。

○スケジュール・必要な条件

①統合を早急に進める

②統合後、家庭負担を減らす政策を進める

③統合後、地元で愛着が持てる教育を早急に進める

○備考

- ・費用は、統合と、住民の流入により、長期的にはまかなえると考えます。

4 チームごとの結果【チーム5】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題

「移住・定住の促進（若い人が就職できる企業誘致等）」

- ・若い人の流失の防止
- ・高齢者のつながり→生きがいにつながる

2. シニアが働ける場所の調整ができる窓口を設置してほしい

- ・生きがい
- ・労働力の確保

3. ふるさと納税をふやす工夫をする

- ・自主財源の確保
 - ・返礼品に対して、うまくPRするストーリーを盛り込む
- ※チョイスペイの活用・普及拡大

4. 今ある施設をきれいに保つよう環境整備

- ・町全体の清潔感を得る。また来たい、と思えるようにする

5. 観光資源をもっとほりさげる、観光資源の発掘をする

- ・もっと告知する
- ・WEBの整備
- ・SNSの活用
- ・観光客の誘致
- ・地元民の楽しめる場所

●最重要課題の解決案

(第2回)

○最重要課題「移住・定住の促進」

○主要な解決策

1. 移住者・定住者に対して、集まれる場所を作ってほしい

- ・定期的な交流の場
- ・同じ趣味の仲間
- ・子育て世代
- ・高齢者
- ・スポーツ同好会等
- ・移住者・定住者を受け入れる地元に受入の指標ガイドラインの作成・告知

2. 市からの発信 PR等

- ・当市の良さ、住みやすさをSNS・他のメディアを使って積極的に発信する→気候、医療、介護、環境 市の魅力、定住者のコメント等のストーリーの発信

3. 補助金・サポート

- ・空き家活用に対する補助金
- ・企業誘致、創業に補助金
- ・子育て世代支援

○選択理由

- ・少子高齢化に対する施策として

○スケジュール・必要な条件

2025年10月今回の会議の結果と総括、今後方針の発表

2025年11月市の担当の割り振り、市議、市民団体の協力依頼、体制づくり

2026年5月取りくんだ施策・予算に対し、結果を検証し、次の施策に活かす

○備考

- ・総合計画で、どのような鴨川市の将来を考えているか、グランドデザインを明確にしめす

4 チームごとの結果【チーム7】

※チーム6 欠番

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)	●最重要課題の解決案 (第2回)
1. 最重要課題「財政の見直し」 ・お金の見直しによって沢山の問題を考えていける (議員さんの定数、市民に対しての情報提供、シーズンごとの海岸の使い方 等) 2. 美化運動 ・町がきたない ・ポイ捨てをみかける ・観光客に対して失礼(観光客をもっと呼ぶには町の美化が必須) 3. 地域活動の活性化 ・地域活動への補助(消防団活動やスポーツ団体への補助を増やす) 4. 学生の遊ぶ場所(子育て世代に対しても) ・若者が地元に残って生活してもらうために ・小さい子どもでも安心して遊べる場所	○最重要課題「財政の見直し」 ○主要な解決策 1. 歳入増と歳出削減を図る ①人口増を図る 1次: 農業機械の貸出 2次: 加工品製作のための工場用地確保を容易に、企業誘致 3次: IT人材流入のための通信網整備、Lifeline、外灯整備(メガソーラーetc) + 6次産業化への支援 ②市債の発行 2.4%程度で発行 - 地銀・生保などへの売り込み(市長) ③観光・イベント - PRの充実 ④冗長的な支出のみなおし ○選択理由 ・鴨川市は常にお金がないからできないと言われるので… ○スケジュール・必要な条件 ・市債発行へ向けての地ならし(交付金との整合性など) ○備考 ・市が積極的に取り組めば実現可能性があり、効果がある。

4 チームごとの結果【チーム8】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題「市の収入を増やす」

- ・まずお金が無いと何もできない。他の課題を解決するために、まず収入を増やす
- ・ふるさと納税の活用
- ・サーフィン客からの駐車場料金徴収（市民は無料、機械を使う）

2. 市の魅力を上げるために既存の施設の改修や市民会館をたてる。空き施設や空き家の活用

- ・住みやすい市、住み続けられる市（若者転出させない）であることが必要
- ・空き家、施設の活用
- ・ex. 施設（市民会館や公共の施設の改修）

3. 子育て介護をしている人へのサポートがほしい

- ・育児や介護で時間もお金もかかるので、サポートが必要
- ・ex. 一時預かり、小学校統合、子育て介護しながら働けるように、教育

4. 道路や公共交通機関をもっと利用しやすく

- ・高速道路
- ・君津や袖ヶ浦のバスターミナルへのバスがあるといい

5. 予算のふり分けが適正か検討

●最重要課題の解決案

(第2回)

○最重要課題「市の収入を増やす」

○主要な解決策

- ・駐車場の有料化
- ・市内学校の統合と特色のある学校づくりにより移住者を増やす
- ・持ち込みのゴミ処理費の適正化

○選択理由

- ・有料化と同時に減らせる財源に着目

○スケジュール・必要な条件

- ・駐車場は年間を通して、機械を使って徴収。2026年4月施行。
- ・学校の統合は3年以内におこなう。（2028年4月まで）特色ある学校も同時に計画し、スタートする。
- ・持ち込みゴミの適正化は2026年4月～。

○備考

- ・市が出来ること、出来ないことをはっきり示すことが必要。

4 チームごとの結果【チーム9】

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題「教育関係」

- ・教育環境を整える事で、地元/地域の学校への進学をするようにしたい
- ・特色ある教育
- ・例えば体育館のエアコンの設置、部活動の地域移行化

2. 病院施設の充実

- ・大病院に集中していて予約とれず待ち時間も長く大変。市民がいける専門的な病院を作してほしい
- ・雇用も増える

3. 町内コミュニティ

- ・今までの形の町内会は人口の減少や高齢化で継続が厳しい地区が多いから

4. シーワールドなどのテーマパークを増やす

- ・オフシーズンや天気が悪い時に利用できる施設がほしい
- ・市民も利用できる

●最重要課題の解決案

(第2回)

○最重要課題「教育関係」

○主要な解決策

1. 鴨川市の将来を見すえた教育システムの構築

学年に応じて地域性のある農業・サーフィンなど体験学習を市で作る

2. 学校設備の充実・教員を増やし、少人数制 特色のあるクラスを増やす

3. 市外から鴨川市で学びたいと思えるような特色ある教育を発信して移住者を増やす

○選択理由

- ・鴨川市の人口を増やすために、住み続けたい、戻ってきたい市にする

○スケジュール・必要な条件

2025年9月 地元企業に協力をあおぐ依頼をする

2026年4月 体験学習実施

2027年1月 県外・市外へPR

○備考

- ・教育に関する予算を計上することにより、実現可能性あり。

4 チームごとの結果【チーム 10】

※本チームは第1会議のみの実施で、第2会議での解決案の作成は実施していない。

●より良いまちづくりのために、市が解決すべき課題(第1回)

1. 最重要課題「スポーツ施設をつくる」

- ・市民が使えるサッカーコートなど
- ・屋外、屋内共に全国大会やプロの選手が使えるような施設
- ・ホテルの活用

2. 祭りの開催

- ・市民のコミュニケーション
- ・祭りのPR
- ・やぶさめ

3. コンサートホールをつくる（市民会館）

- ・音楽、イベント
- ・市民が集える
- ・市外から人を集める

4. 国の事業を鴨川へ

5. 交通の便

- ・高速
- ・電車